

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策などの地域への協力依頼は、運営推進会議の場を通じて働きかけを行っているが、実際の災害訓練などの実現には至っていない。また具体的な協力体制も十分に整っていない。	近隣住民や地域の皆さんのご理解・ご協力を得て協力体制を整えると共に、協同での避難訓練を年2回(春・秋)実施する。	自治会の総会で、相談・協力をお願いして実行委員を選出し体制をつくり実現に向けての話し合いの場を設け計画を立てる。また消防にも助言を求めていき、日中と夜間を想定しての協同避難訓練をそれぞれ春と秋に行う。	8ヶ月
2	40	利用者の食べたいものを聞いたり献立を一緒に考えたり、栄養士に献立を見てもらったりなど、更に充実した食事の支援に向けての工夫が不足している。	月に1回程度の選択メニュー日を設けたり、同法人内の栄養士から献立を教えてもらい、より充実した食事ができるようにする。	献立作りの段階で、利用者の食べたいものを聞き出すよう働きかけたり、味噌汁の具など選択してもらったりして、食べることに意欲が持てるようにする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。